

みんなで築く!
こうふくいちやじょう
港福一夜城 VOL.4
「移動」を考える

DATE 2017年 7月21日(金)
18:30~20:30
(開場18:00)

車いすの方の電車の乗り降りですべてスタッフがサポートしている風景

実は、障害当事者は、事前に乗降の時刻を予告し、

必ずその場所で降りなくてはならない。

ベビーカーや車いすでエレベーターに乗りたくても、

満員のときは、乗れるまで待たされることは多い。

通学に医療的ケア、送迎が必須のこどもたちがいる。

「普通に暮らす=自由な移動」が疎外されている現実。

「移動すること」を切り口に暮らしや、自分達の仕事や

支援の取組に必要なこと、を考える港福一夜城vol4!



会場 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ

参加費 500円



申込フォーム>> <https://goo.gl/ZVRKe8>

<http://www.kokuchpro.com/event/fc0bfc8d096523da19aada770a6775d/>

原則として港北区内在住在勤、地域のまちづくりや福祉的な

取り組みに関心ある方ならどなたでも歓迎。

主催 港福城プロジェクト

福の衆 (プロジェクト賛同人)

このプロジェクトは港北区にゆかりのある有志が、次代を担う人たちが所管や事業の枠を超えて横断的に連携することこそが、地域住民の明日の暮らしの幸せを築くことにつながることを願って、プロジェクト賛同人=「福の衆」と名付け、たくさんの方々のご賛同を得て運営します。裏面に五十音順で掲載しています。

問い合わせ: 港福城プロジェクト TEAM SASUKE

EMAIL kohoku.sasuke@gmail.com

<https://www.facebook.com/kohokusasuke>

TEL045-540-7422 (NPO法人びーのびーの事務局内)

協力 一般社団法人 全国子育てタクシー協会 神奈川支部

みんなで築く!
港福一夜城
VOL.4

港北の福祉の次代を担う人が

集まる一夜城

役職・職域・世代は関係ない。

身近な実践を聞きあい、

ただ明日のために語り合おう

今夜のご当主 (話し手)

大野 慶太

東宝タクシー株式会社

代表取締役社長

(一社)全国子育てタクシー協会

副会長

松山 浩士

港北区役所福祉保健課

佐藤 洋子

NPO法人こども応援ネットワーク

理事長

今夜のご当主



大野 慶太 港北区生まれ、青葉区育ちの40歳。一男一女の父。
大学卒業後にサントリー株式会社の調達部門に9年間勤務の後、
東宝タクシー株式会社に入社し、2013年代表取締役社長に就任。
同年、神奈川県タクシー協会横浜支部の副支部長にも就任し、今に至る。
全国子育てタクシー協会副会長、UDタクシー導入事業者連絡協議会の座長等を務め、
全国各地のサービスの拡大普及に尽力している。オフタイムは市民オーケストラで活躍！

松山 浩士



神奈川県在住、北海道生まれ、岐阜市育ちの48歳 港北区役所福祉保健課勤務
大学在学中22歳の時に（1991年8月）にバイクの事故により車椅子を利用することになった。
1993年4月に横浜市職員となり、港北区役所、中央卸売市場本場、都筑区役所を経て現在の
港北区役所福祉保健課勤務。
以前は車椅子マラソンやバスケットボールに汗を流した時もありました！最近はなかなか時間がとれないのが残念。



佐藤洋子 青葉区在住。障がいがあってもなくても地域で自分らしく生きることを理念に活動中。

1997年 障がいのある子どもたちの余暇支援事業に取り組む「アンダンテ有限公司」設立、
2001年「NPO法人子ども応援ネットワーク」設立
2007年第1回よみうり子育て応援大賞選考委員特別賞受賞、
2009年「子育てタクシー」事業をアサヒタクシーと協働で開始。
最近「自分らしく」が自分にあてはまらないと迷走している。車いすを利用している息子が23歳になり、
これからいろいろと「託す」ことが増えてくると感じながら、自分も含めて地域とか社会が今よりももう少し
「感度」があがるといいなと考えている、糖質オフビール1缶＋ワイン少々が日々のお楽しみ。

港福一夜城これまでのあゆみ

Vol1.2016.10.13(木) 18:45~20:30/ 会場 だろっパサテライト

ご当主:加藤 彰彦さん(沖縄大学前学長)×村田 由夫さん(大倉山保育園園長) 参加者 約70名
1970年代以降、お二人が中区寿町で見てきた出来事、人々の姿をいきいきと、当時のスライドを見ながら、伺った。
その佇まいから、お二人の支援者としてのありようが浮かび上がるとともに、これからのまちづくり、人づくりを担う人々へのメッセージ、福祉の場において戦う実践者としてのDNAがそれぞれの人たちの胸に刻まれた。

Vol2.2017.1.13(金) 18:30~20:00/ 会場 港北区役所1F 予防接種室 参加者 約100名

ご当主:鈴木 明子さん(野のすみれクリニック)×山下 容子さん(株式会社あやちゃん家) 参加者 約100名
障害児の母という当事者として、プロフェッショナルな医療者、看護師という立場で活動してきた取組についてお話を伺った。実践の中から見えてくる、地域で障害児者が共に育ち、暮らすためにこれから必要なことについて、定員を大幅に越えて参加した約100名とともに分かちあい、それぞれが明日できることについて考える機会となった。

Vol3.2017.3.23(木) 18:30~20:15/ 会場 野菜レストランさいとう 参加者 約80名

ご当主:横山 日出夫さん(港北区長)×竹田 和広さん(一般社団法人ウィルドア共同代表理事
/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
学生、医師、保育、幼児教育、包括支援センター、子育て支援、IT企業、不動産、宮司、建築業、民生委員、行政、社協、薬剤師、障害児支援、など多様な立場が集った。地域活動の主な担い手である層からみると、若者(何歳までが若者なのか?)は流動的で「計算できない」、しかし、若者世代は、ボランティア活動や社会貢献活動への意欲関心は高い。彼らの活躍の場を地域の人、場はどう受け入れ、どう関わるべきか、行政の立場での地域活動、市民活動の支援の在り方は?、など地産地消を大切に「野菜レストランさいとう」の料理を堪能しながら考えた。

福の衆-プロジェクト呼びかけ人-(五十音順) 2017年6月1日現在 *随時募集中! ぜひ一緒に・・・

青木恵美子(NPO法人フラットハート)・安達和世(岸根保育園副園長)・池田誠司(港北区社会福祉協議会)・石原千草・伊藤泰毅・入江勝通(港学舎/コバ市民の会)・若本洋子(日吉台光幼稚園長)・若本邦彦(日吉台光幼稚園副園長)・宇田川規夫(港北区災害ボランティア連絡会・国際救急法研究所)・大神田絵美(城郷小机地域ケアプラザ)・奥山千鶴子(NPO法人びーのびー)・大場佳代子(NPO法人あいあい)・大豆生田啓友(玉川大学大学院教授)・大野玲子・大原日恵・門倉晴義(金沢区社協)・河村太喜・北見智美(天王町保育園園長)・木下豊(港北図書館館長)・久保希有子・小池伊左雄・小嶋正夫(中区社協)・小林富夫(トライセブン)・小林康夫・嶋宏之(笹野台地域ケアプラザ)・白瀧宏子(たんぼぼ保育園園長)・新堂泰江(社会福祉法人かれん)・助廣一則・鈴木ヨシモト直美(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・鈴木智香子(NPO法人街カフェ大倉山ミエル)・鈴木美美子(NPO法人ハッピーマザーミュージック)・関口昌幸(横浜市政策局)・妹尾信二(精神保健ボランティアグループあみねと)・芹田賢治(たかたんのうち代表)・田中孝秀・田之畑有美(港北区地域子育て支援拠点サテライト副施設長)・畑中祐美子(NPO法人びーのびー)・原美紀(港北区地域子育て支援拠点施設長)・平井誠二(大倉精神文化研究所)・藤岡圭子(新吉田地区民生委員)・丸田剛洋(北綱島特別支援学校)・武藤啓司(楠の木学園)・村田由夫(大倉山保育園)・宮田光明(港北区民生委員児童委員協議会)・安江文子(ちいさなたね保育園)・山科礼子(日吉宮前地区民生委員)・山村朋子(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・安田加代子・山下容子(放課後等デイサービスわくわくさん綱島東の扉・日吉の扉)・山本一乃(日吉地区センター副館長)・渡邊広美(新田地区センター)・齋藤良治(野菜レストランさいとう オーナーシェフ)